

ホテルウィングインターナショナルプレミアム金沢駅前

石川県金沢市

設計・監理／日企設計 デザイン監修／白江建築研究所

施工／熊谷組

HOTEL WING INTERNATIONAL PREMIUM KANAZAWAEKIMAE

NIKKI SEKKEI



上・右上／最上階「天空ギャラリー おんぼらあと」 右下／外観夜景

設計主旨

計画中のホテルの最上階にフロントとロビー・朝食会場が一体になった空間があり、ここを金沢らしい空間にしたいとお話をいただいた。建築設計はすでに完了していて、杭工事がスタートしていた。しかし一部屋だけデザインしても効果が少ないので、その部屋の魅力を感じていただくための導入として、外観の色調やホールの内装にも提案させて欲しいと話しているうちに、ホテル全体のデザイン監修をさせていただくことになった。計画に際して2つのことを考えた。ひとつはビジネスで金沢を訪れた人にも、宿泊するだけで金沢を感じていただけるようにしたいと言うこと、もうひとつは金沢という都市の文化に何か小さなものでも良いので、新しい魅力を付加できないかということだ。

一 宿泊することが金沢の文化を

体験することになるビジネスホテル

金沢は近年北陸の中心都市として活況を呈しているが、その背景には数百年に亘ってこの地で育まれてきた濃密な文化の魅力がある。しかしビジネスで金沢を訪れる客は、昼間は会議に追われ、夜が東京と同じようなビジネスホテルでは、金沢を体験できないまま帰ることになってしまう。観光客の場合も宿泊先が普通のビジネスホテルでは興ざめだろう。そこで宿泊だけでも金沢を感じていただきたいと考えた。これは施主の要望でもある。11フロアに及び客室階を、金沢の伝統文化にちなんで11色で特徴付け、それらの色を使った和柄の壁紙を客室内にも使うなどして、宿泊することが金沢の文化を体験することになるように計画した。11色は、金沢の伝

統的な染色法である加賀友禅で用いられる加賀の五彩と、同じくこの地に伝わる九谷焼で用いられる九谷の五彩を合わせた10色に、金沢特産の金を加えた11色としている。

一 金沢で業を営む者は、

金沢の文化に何か新しい魅力を付加すべき

金沢の魅力は、前田家という大きな指針のもと、そこに住む人々が日常の営みの中で少しずつ小さな創造を重ねてきた人工の魅力である。金沢でホテルを営むことは、金沢の文化を消費するだけでなく、金沢の文化の積み重ねに参加することであるべきだ。これはホテル自体が独自の魅力を持ち目的施設化することでもあるので、ホテルの生き残り戦略上も有効だ。

今回は、最上階の「天空ギャラリー おんぼらあと」のインテリアに、金沢周辺の白山信仰か

ら着想を得たデザインを行い、もともと地域に内在していた感性を顕在化させることで、金沢の未来に小さな文化の種を加えようと考えた。

一 白山信仰の宿坊での体験から着想した

空間デザイン

私は金沢駅東広場の意匠設計を担当させていただいた関係で、長く金沢に関わったが、ある時金沢近郊の山道を車で走っていた時に道に迷うことがあった。あてにならないNAVIを見つめながら分岐が少ない山道に誘われるように上り詰めると、山頂にある白山信仰の宿坊にたどり着いた。頭上にはおどろおどろしい雲が低くたちこめていたが、雲の下では遠くの街並みが見えそうなくらい視界が開けていた。宿坊には仏教とも神道ともつかない独特な宗教的雰囲気たちがち込めてい

る。宿坊から風景を見ていると、厳しい自然に翻弄されながら凛々しく命をつないで来た北陸の人たちの心の背景が見えたような気がした。また、生き物の命の葛藤に触れたような気もした。

今回の「天空ギャラリー おんぼらあと」のデザインでは、この体験を写し取ろうと考えた。最初は雲の動きを天井に写し、その天井と床の間から遠くの風景を見ていただきたいと思ったのだが、それだけでは要素が足りないと感じた。しかも近代デザインにどっぷり浸かった私にはできない情念的要素が欲しいと感じた。そこで、世界中の彫刻家を検索した中で、土屋仁応氏の作品を発見し、この人と協働させていただきたいと思った。土屋氏は仏像の修復から彫刻に転じた新進気鋭の彫刻家だ。土屋氏との議論の中で、彫刻は床から立ち上

がるカモシカと、天井で渦を巻く龍とで構成し、宿泊者を龍とカモシカが創る気雲の中に巻き込むような空間的な構成に決まった。土屋氏は巡回展の初日に作品が売り切れてしまうような超売れっ子作家だが、今回の作品は土屋氏にとっても空間彫刻に踏み出した記念碑的な作品になるのではないかと期待している。このような建築と彫刻が一体になった類まれな作品の中で、宿泊者に時間を過ごしていただく場を創ることが、金沢全体の文化の幅を広げると共に、ホテルの価値を高めることになる期待している。(白江龍三／白江建築研究所)



白江 龍三……しらへりゅうぞう
環境建築家。日本大学大学院修了。
白江建築研究所代表。前橋工科大学
大学院非常勤講師。金沢駅の鼓門や
もてなしドームの設計を担当。



上/客室(プレミアム和洋室ツイン) 左下/1階EVホール 右下/客室(プレミアムダブル)



南西側より見る

**ホテルウィングインターナショナルプレミアム金沢駅前
データ**

所在地 石川県金沢市堀川新町8-13
主要用途 ホテル
建築主 株式会社 日本エスコン
設計・監理 日企設計 担当/総括:野々田弥
デザイン監修 白江建築研究所 担当/白江龍三
施工 熊谷組
 担当/所長:山田義嗣 建築:下田隆宏、田邊 翼
 設備:三國弘貴

設計期間 2016年3月~2016年9月
工事期間 2016年11月~2018年2月
開業 2018年4月1日

【建築概要】

敷地面積 498.06㎡
建築面積 265.7㎡
延床面積 3,338.79㎡
建ぺい率 53.34% (許容80%)
容積率 596.07% (許容600%)
構造規模 S造 地上13階
最高高さ 44.31m
軒高 41.08m
階高 2.91m
天井高さ 2.3m
主なスパン 12m×9m

道路幅員 8m
駐車台数 敷地内12台、隔地6台:計18台
地域地区 商業地域

客室数 121室 ダブル(15㎡)×40室、ツイン(20㎡)×31室、ギャラリーダブル(17㎡)×11室、和洋室ツイン(20㎡)×8室、プレミアムダブル(15㎡)×15室、プレミアムツイン(20㎡)×12室、プレミアム和洋室ツイン(20㎡)×3室、ユニバーサル(20㎡)×1室

【設備概要】

電気設備 受電方式/高圧三相3線式 6.6kV 変圧器容量/900kVA 予備電源/非常用発電機 150kVA
空調設備 空調方式/空冷パッケージエアコン 熱源/電気

衛生設備 給水/加圧給水ユニット、受水槽 給湯/中央式、ガス給湯器 排水/単管式排水システム

防災設備 消火/スプリンクラー設備、移動式粉末、消火器、連結送水管、補助散水栓

昇降機 エレベーター×2基

【主な外部仕上げ】

屋根 外断熱シート防水+シンダーコンクリートt80
外壁 ALC t=100(縦貼)+50角磁器質タイル、吹付タイル

建具 アルミ、スチールサッシ

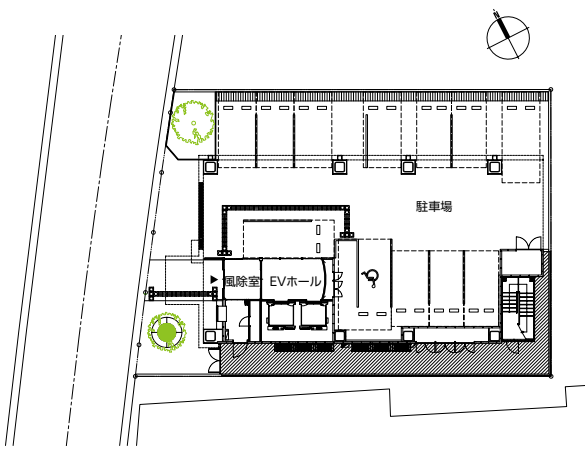
外構 100角磁器質タイル、御影石

【主な内部仕上げ】

天空ギャラリー おんぼらあと 床/600角タイル 壁/不燃練付け合板(桧) 天井/アクリル樹脂系特殊塗装

客室 床/タイルカーペット、畳 壁・天井/ビニルクロス

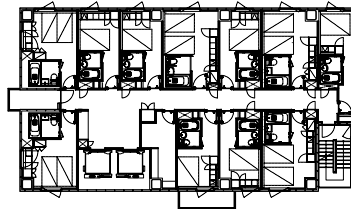
撮影/近代建築社(佐武浩一)



配置・1階平面図 縮尺1/500



最上階平面図



客室階平面図

協力会社

電気設備工事	シグマ電機
給排水衛生・空調設備工事	柿本商会
山留工事	三谷エンジニアリング
製作金物工事	清家鉄工
アルミ製建具・鋼製建具・シャッター工事	小森商事
塗装工事	萩野塗装
U B 枠	カイダー・ベースボード工業